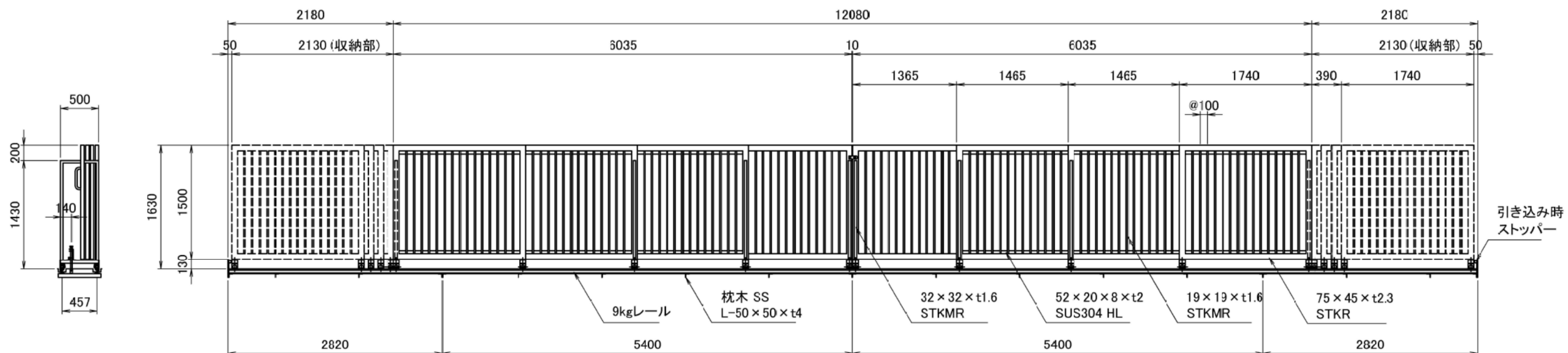


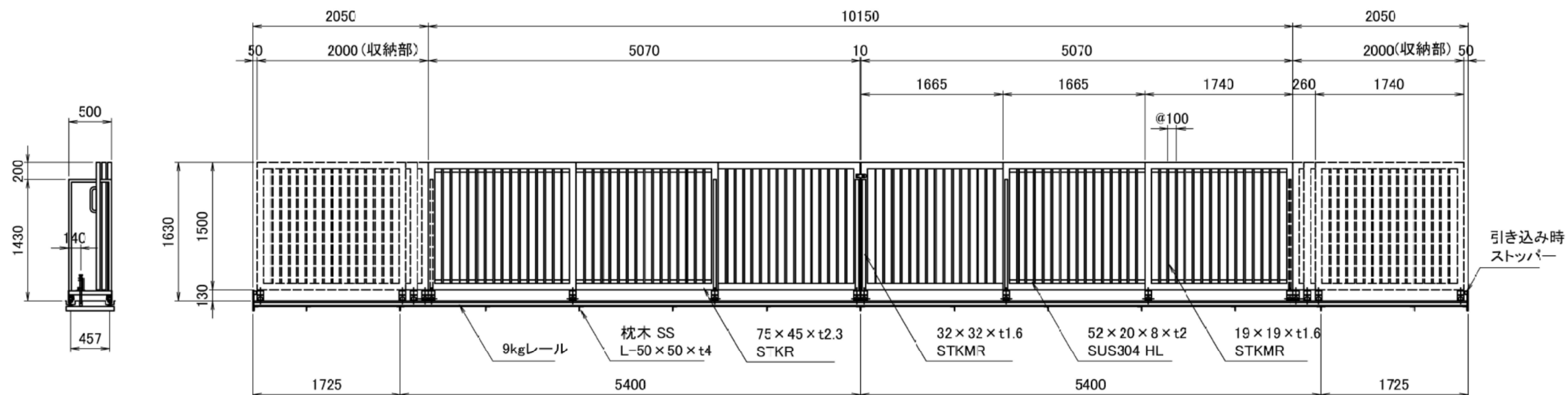
囲障構造図(1)

S=1/30(A1)

大型門扉
(W=12.0m)



大型門扉
(W=10.0m)



業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る敷地造成基本設計業務委託		
図面名	囲障構造図(1)		
図番	28 - 34	縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
令和 4 年 3 月			
小山広域保健衛生組合			

図 4-2 囲障構造図(1)

資料16-(7) 第2期エネルギー回収推進施設造成基本設計(設計計算書)

困障構造図(2)

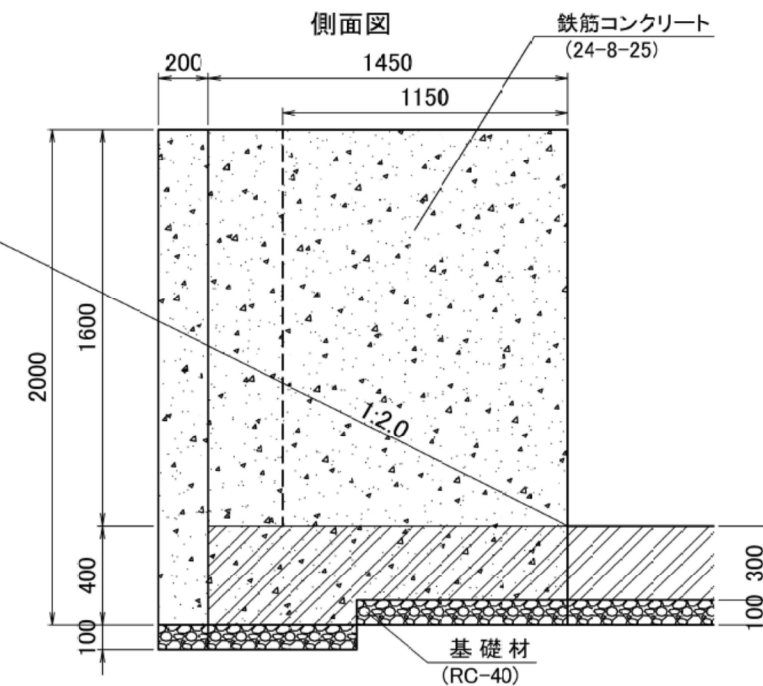
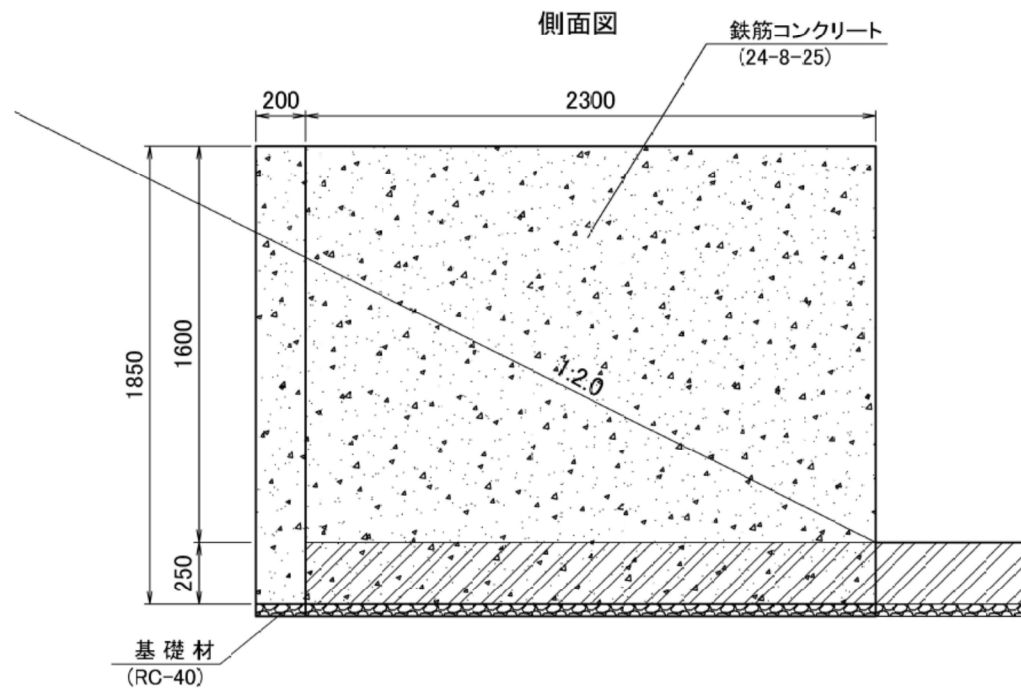
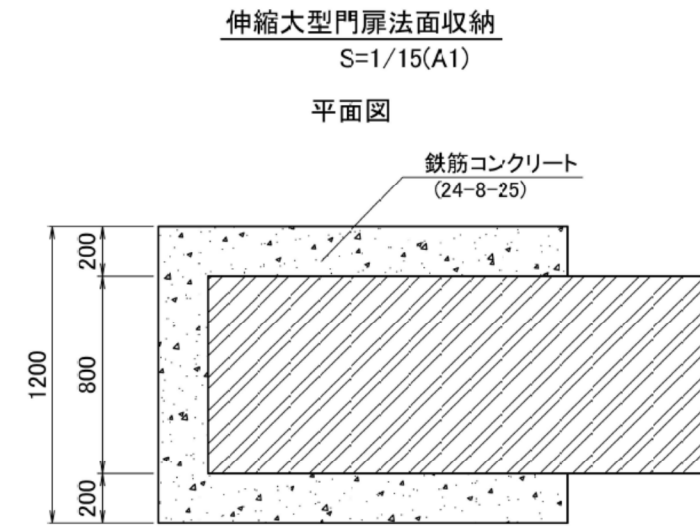
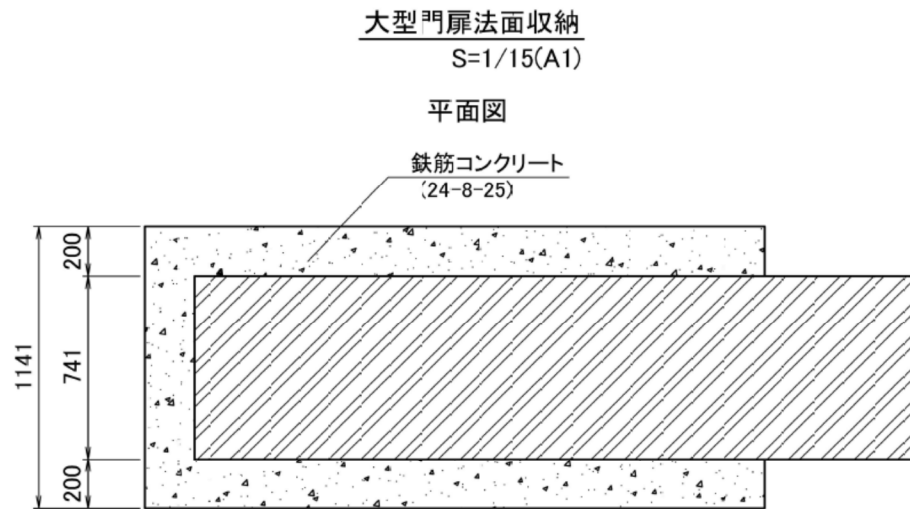
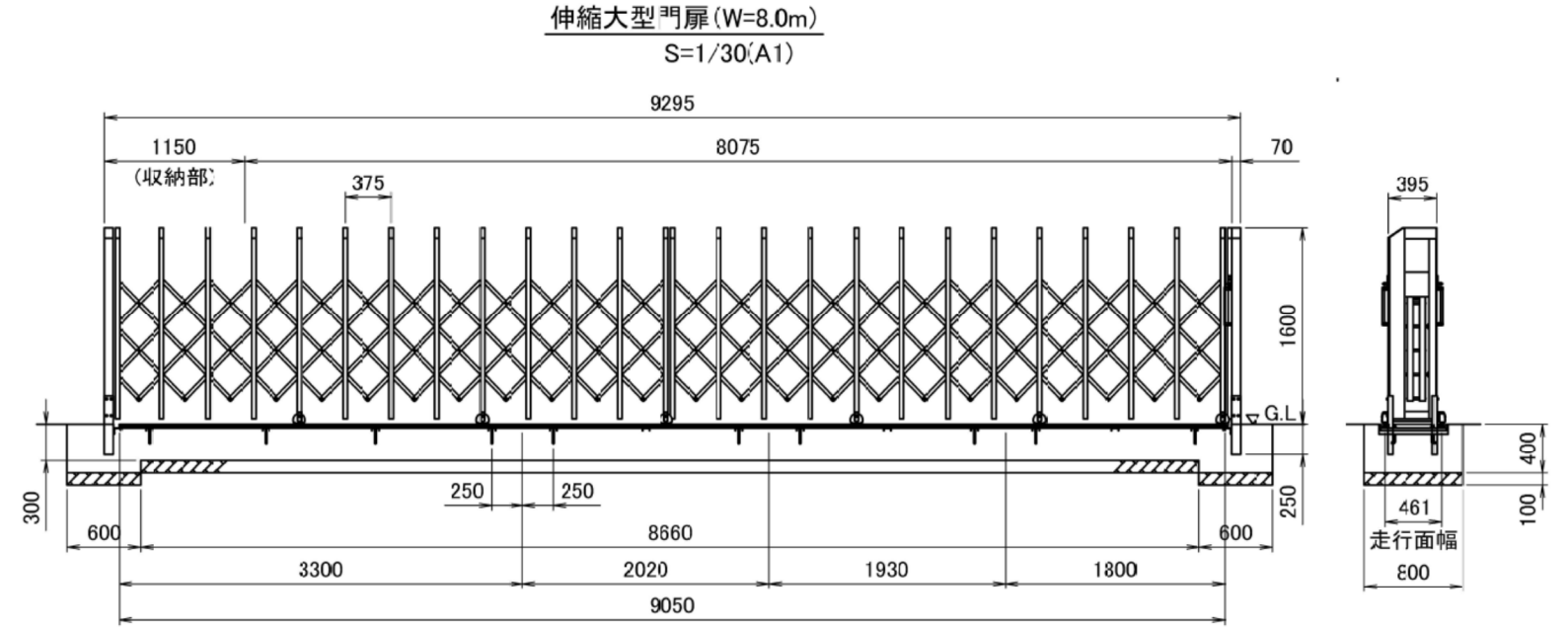
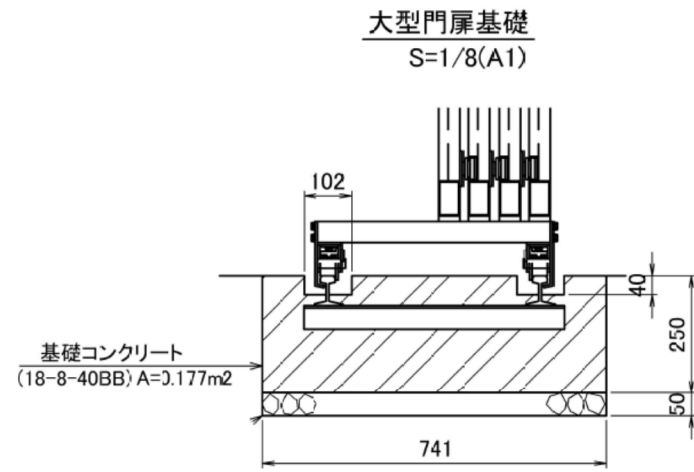
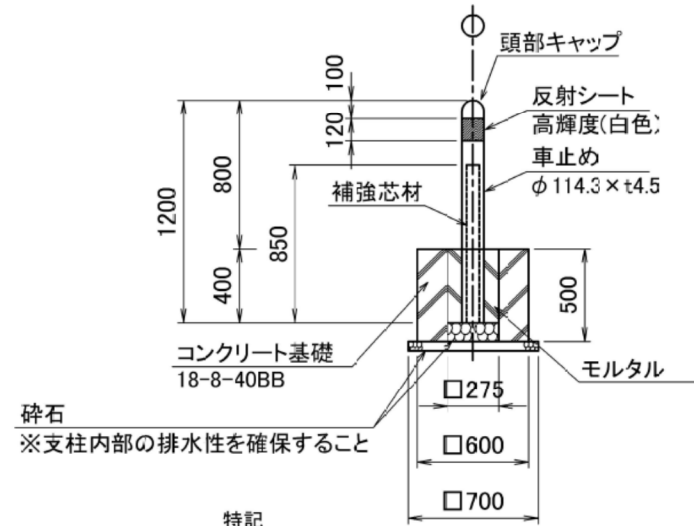


図 4-3 困障構造図(2)

業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る敷地造成基本設計業務委託		
図面名	困障構造図(2)		
図番	29 - 34	縮尺	図示 (A1)
令和 4 年 3 月			
小山広域保健衛生組合			

囲障構造図(3)

車両進入防止車止め(H=0.8m)
40km/h衝突対応 設置間隔1.5m
S=1/20(A1)

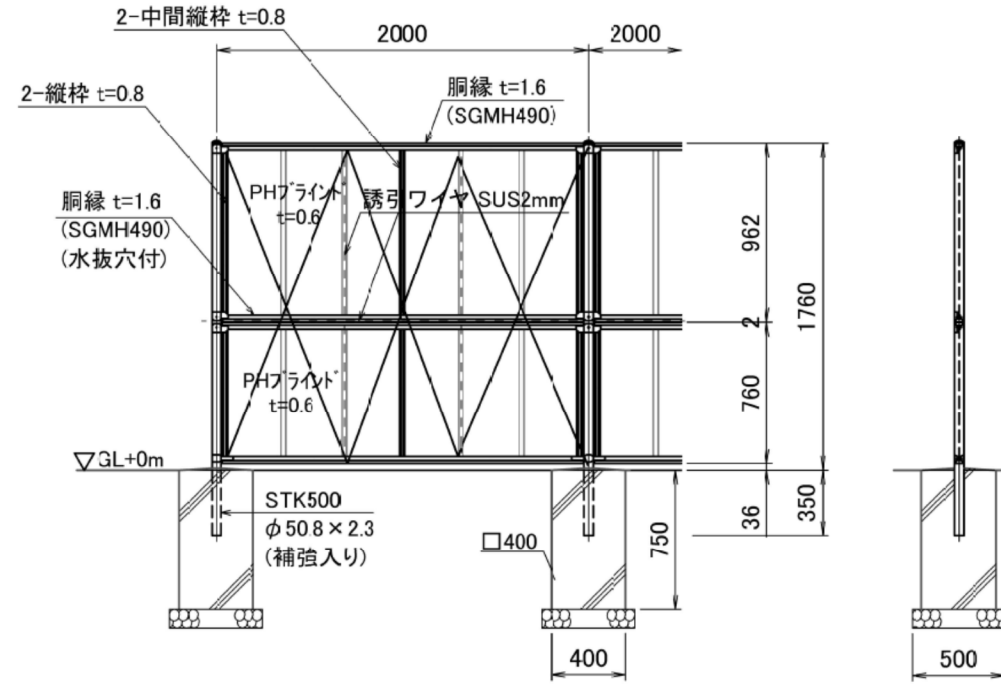


特記

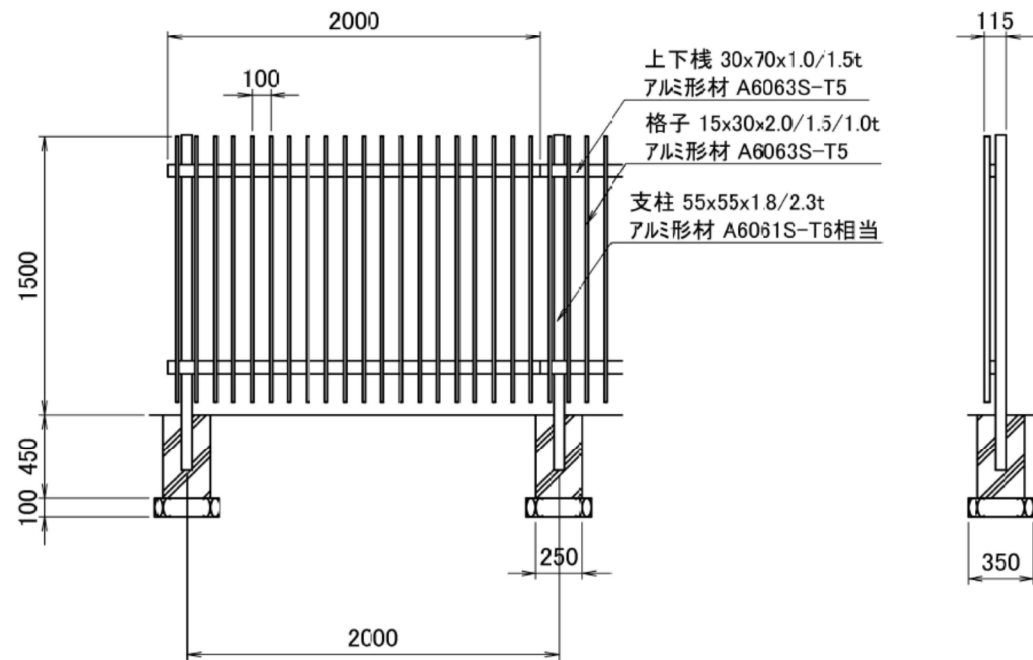
・反射板は高輝度反射シートとする。

品名	材質	摘要
頭部キャップ	SGHC	亜鉛めっき+静電粉体塗装
車止め	STK400相当	高耐食溶融めっき+静電粉体塗装
補強芯材	STKR400	亜鉛めっき+静電粉体塗装
	SG-400	

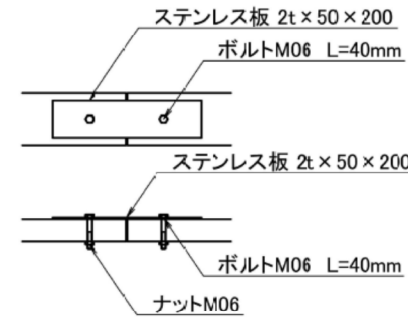
目かくしフェンス(H=1.8m)
S=1/20(A1)



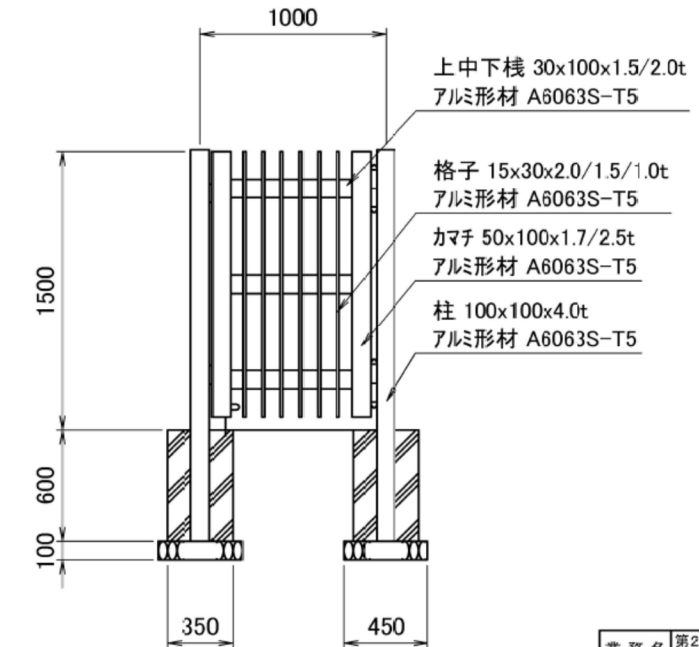
フェンス(H=1.5m)
S=1/20(A1)



取り外し加工
S=1/5(A1)



片開門扉(W=1.0m)
S=1/20(A1)



業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る敷地造成基本設計業務委託		
図面名	囲障構造図(3)		
図番	30 - 34	縮尺	図示(A1)
令和4年3月			
小山広域保健衛生組合			

図4-4 囲障構造図(3)

5. 誘導施設設計

5.1 サイン

サインは、本施設に来場した搬入者及び見学者等が安全かつスムーズに目的の場所へ行けるよう設置する

1) 本設計の考え

道路脇のサインとして、道路反射鏡、番号入り標識、ガードレール、及びクッションドラム等を設置し、道路上には進行方向の矢印、停止線や「止まれ」の文字を表示する。

5.2 身障者誘導設備

身障者誘導設備は、平成 18 年 12 月 20 日に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー法）の施行により、ハード・ソフト両面の施策が充実し、高齢者や障害者なども含めたすべての人が暮らしやすいユニバーサル社会の実現を目指す施設である。

1) 本設計の考え

身障者誘導設備として、駐車場から施設入口まではカラー舗装と点字ブロックを設置し、駐車場とカラー舗装の間には車両進入防止用の車止めを設置する。また、法肩部には目隠しフェンスを利用して、通行者の落下防止を図ることとしている。

5.3 消防活動用空地

消防活動用空地は、災害時にはしご車が容易に救助活動を行えるように設けるスペースのことを言う。救助活動の際は、はしご車を消防活動空地に駐車し、そこからはしごを伸ばして建物に侵入し、救助活動を行う。はしご車は、全長 10m 以上、幅は 2.5m 以上、高さ 3.6m ほどの大きな車で、このような車両が活動できるスペースを設けなければならない。また、活動用空地上には物を置いたり、車を駐車してはならない。

1) 本設計の考え

第一期焼却施設用の消防活動用空地は施設南側の空地部分、第二期焼却施設の消防活動用空地は施設南西側の道路上に暫定的に配置している。そのため、第二期焼却施設の最終的な位置が決まり次第消防署と協議を行い、適切な位置への設置を行うことになる。なお、関係機関協議の内容を以下に示す。

2) 関係機関協議

消防活動用空地に関する相談とそのタイミングについて、消防署指導第 1 係に確認したところ、図面がある程度固まった詳細設計時に相談してほしいと言われている。

また、消防に関する事前協議は、建築指導課と事前協議（建築確認申請等）した後に、実施するのが一般的な流れであるため、建築指導課より消防署や消防本部に案内してもらい協議を進める。

誘導施設平面図

S=1/500 (A1)

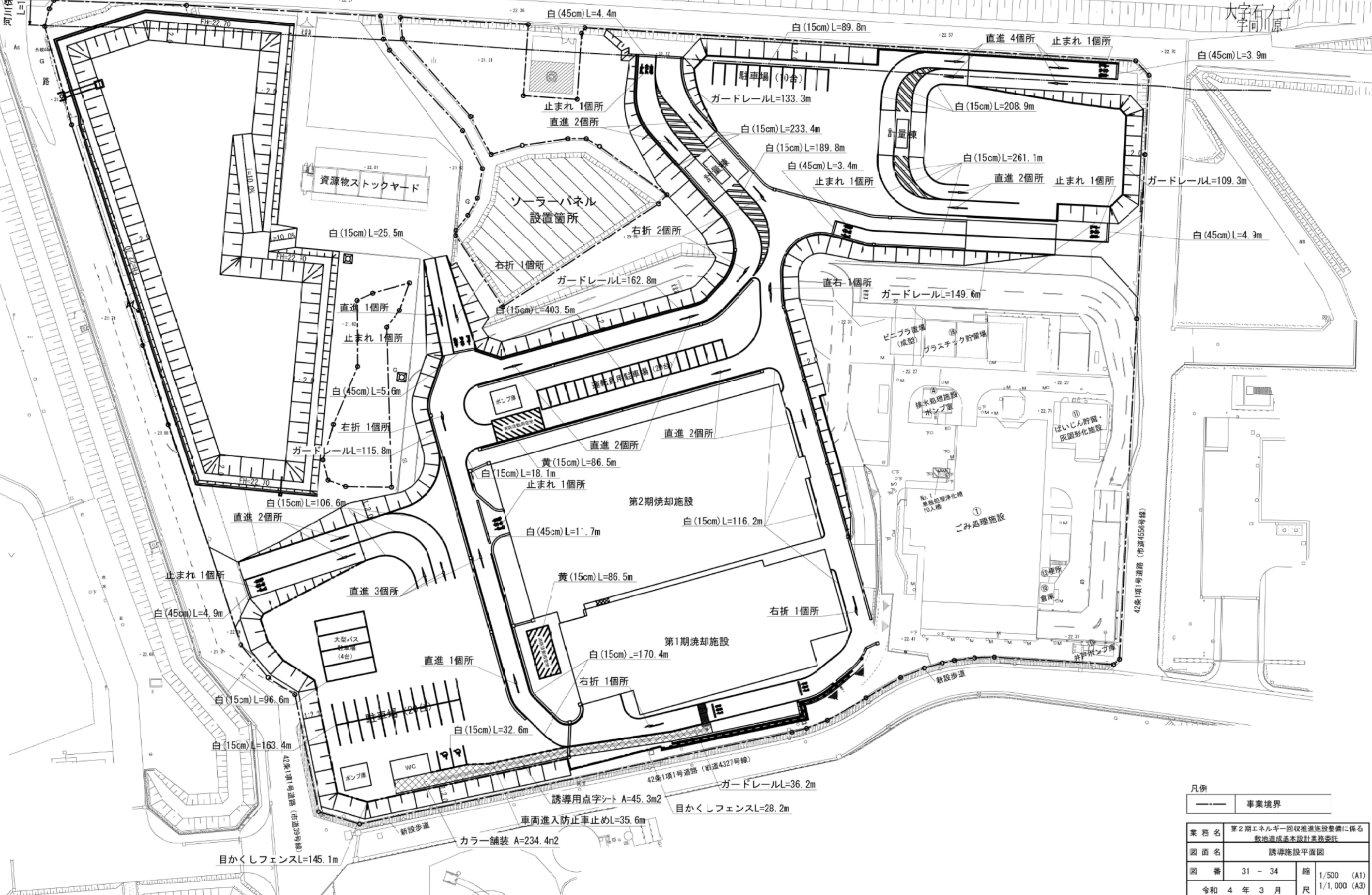


市道4556号線

河川保安区域
L=15.0m

大字塩沢
字川原

大字石ノ
字同原



大字塩沢

図 5-1 誘導施設平面図

凡例	
——	事業境界

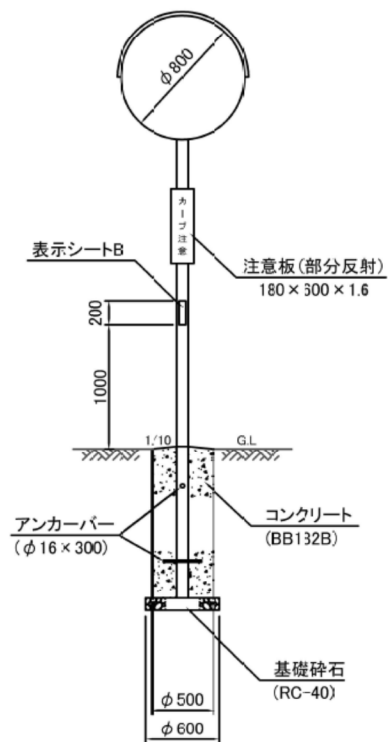
業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る敷地造成基本設計業務委託		
図面名	誘導施設平面図		
図番	31 - 34	縮尺	1/500 (A1) 1/1,000 (A3)
令和	4年3月		
小山広域保健衛生組合			

誘導施設構造図

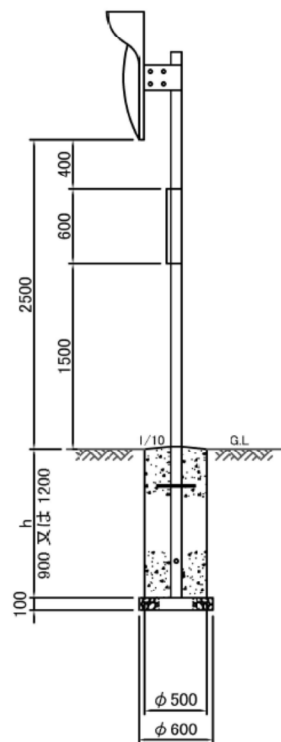
道路反射鏡

S=1/30 (A1)

正面図



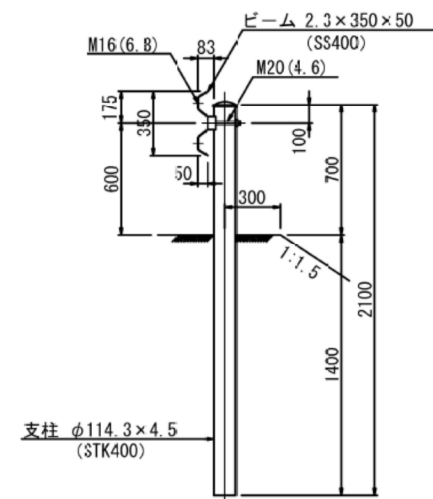
側面図



ガードレール

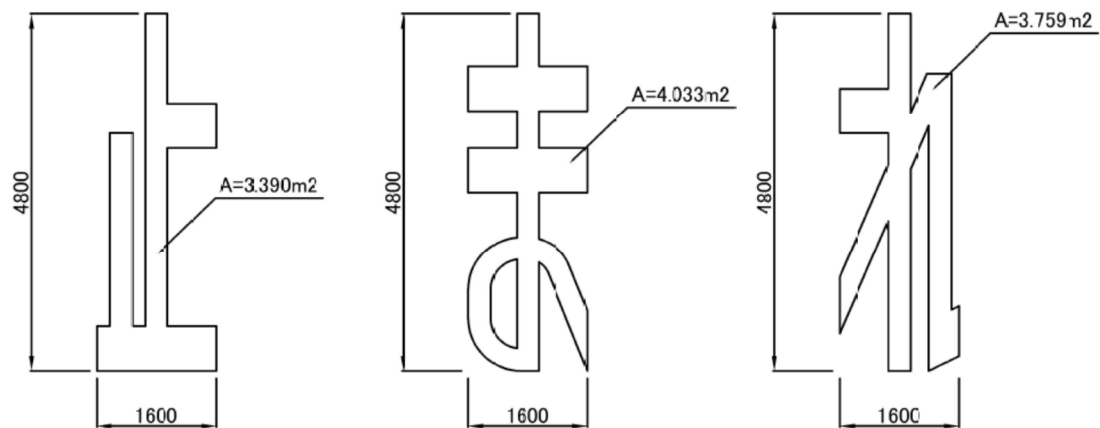
S=1/20 (A1)

Gr-C-4E



路面表示(止まれ)

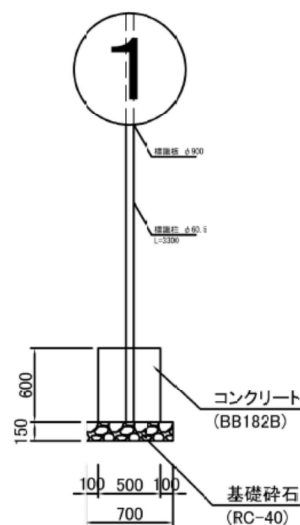
S=1/50 (A1)



15cm換算 $L=(3.390+4.033+3.759) \div 0.15=74.547m$

番号入り標識

S=1/30 (A1)



クッションドラム

S=1/20 (A1)

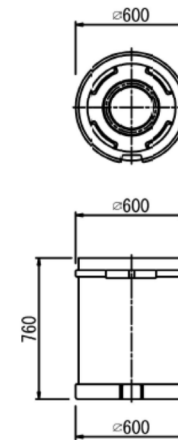


図 5-1 誘導施設構造図

業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る 敷地造成基本設計業務委託		
図面名	誘導施設構造図		
図番	32 - 34	縮尺	図示 (A1)
令和 4 年 3 月			
小山広域保健衛生組合			

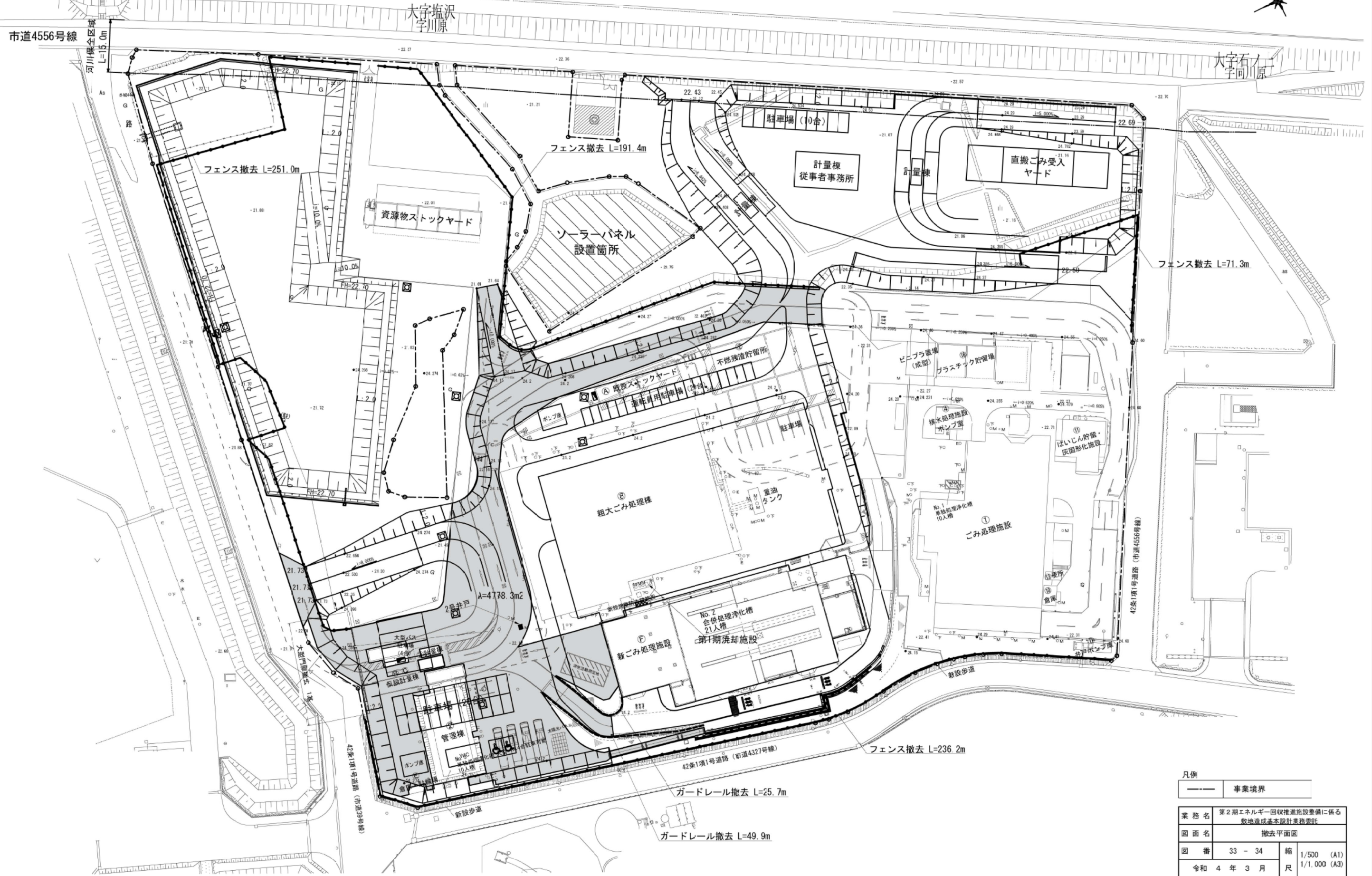
6. 撤去設計

撤去工事は、盛土を行う範囲にある防護柵（ガードレール）、フェンス、大型門扉、アスファルト舗装等を対象として撤去を行う。なお、アスファルト舗装は、表層のみを撤去対象とする。

撤去物は、金属、コンクリート、アスファルト等に選別し、適切な処理・処分を行う。

撤去平面図

S=1/500 (A1)



凡例

——	事業境界
----	------

業務名	第2期エネルギー回収推進施設整備に係る敷地造成基本設計業務委託		
図面名	撤去平面図		
図番	33 - 34	縮尺	1/500 (A1) 1/1,000 (A3)
令和 4 年 3 月			
小山広域保健衛生組合			

図 6-1 撤去平面図

7. 工事工程表

7.1 主要工事の必要月数

主要工事の必要月数は、数量計算書で算出された数量を基に、各工事の日当り施工量を用いて施工日数を求め、全体工事期間が1年で終わるよう作業スペースを考慮したパーティー数を設定し、算定する。

表 7-1-1 主要工事の必要月数

費目 工種	数量	単位	日数	雨休率考慮	月数	パーティー数	必要月数
造成工事	1	式	116	166	5.6	3パーティー	1.9
掘削	7,500	m3	24				
路体(築堤)盛土	38,900	m3	73				
L型擁壁H=2000	157	m	19				
法面工事	1	式	42	60	2	3パーティー	0.7
法面整形工	1	式	38				
植生工	1	式	4				
雨水集排水工事	1	式	237	339	11.3	3パーティー	3.8
側溝工	1	式	97				
集水枿	1	式	35				
組立マンホール工	1	式	32				
管渠工	1	式	67				
函渠工	1	式	6				
防災調整池工事	1	式	100	143	4.8	2パーティー	2.4
枿工	1	式	23				
函渠工	1	式	3				
管渠工	1	式					
擁壁工	1	式	15				
防草コンクリート	1	式	1				
法面工	1	式	9				
床板工	1	式	49				
舗装工事	1	式	72	103	3.5	2パーティー	1.8
下層路盤(車道・路肩部)	13,319	m2	29				
上層路盤(車道・路肩部)	13,319	m2	6				
表層(車道・路肩部)	13,319	m2	6				
歩車道境界ブロック	537	m	31				
囲障・誘導施設工事	1	式	115	165	5.5	2パーティー	2.8
囲障工	1	式	48				
門扉工	1	式	36				
路側防護柵工	1	式	6				
小型標識工	5	基	7				
安全施設工	1	式	6				
区画線工	1	式	7				
カラー舗装工	1	式	4				
点字シート設置工	1	式	1				
撤去工事	1	式	41	59	2	2パーティー	1
防護柵撤去工	1	式	1				
附属物撤去工	1	式					
構造物取壊し工	1	式	10				
運搬処理工	1	式	30				
付帯工	1	式					

7.2 工事工程表

工事工程表は、前項で算出した必要月数を用いて、各工事の施工順に並べて作成する。

各工事の施工順番は、計画準備の後、敷地内に降った雨水の地下浸透効果を高めるため、舗装の撤去を最初に行い、続いて調整池の整備を行う。次に、造成工事と雨水集排水工事を同時期に開始し、法面工事は造成工事の後半に実施する。また、舗装工事は雨水集排水工事の終盤から開始する。最後に囲障の撤去工事と囲障・誘導施設工事を同時に開始して最後に跡片付けを行う。なお、造成工事の間にプラント工事が入ってくることになる。

表 7-2-1 工事工程表

工種	月数	パーティー数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
計画準備	1.0	-	■												
造成工事	1.9	3					■	■							
法面工事	0.7	3						■							
雨水集排水工事	3.8	3					■	■	■	■					
防災調整池工事	2.4	2		■	■	■									
舗装工事	1.8	2								■	■				
囲障・誘導施設工事	2.8	2									■	■	■		
撤去工事	1.0	2		■							■				5月舗装、12月囲障
跡片付け	1.0	-											■		